

奨励賞



設計者

中藤泰昭

東京建築士会、大成建設(株)設計本部

事務所・店舗

東京都中央区銀座

G.Itoya(銀座・伊東屋)

構造・階数

鉄骨造(制振構造)

一部鉄骨鉄筋コンクリート構造

地上13階、地下2階、屋上2階

敷地面積

378.48㎡

建築面積

344.22㎡

延床面積

4,195.46㎡

竣工

平成27年5月19日



A



B



C



D

選評

超有名ブランドのビルが次々に建設され、様変わりしつつある銀座。その中心部に建つ老舗の文具店・伊東屋の建て替えてである。

建物全体としては「まちに開かれた『ガレリア』を積み重ねて構築する」方針がとられた。1965年の竣工以来、親しまれてきたビルを象徴するステンレスのファサードは内部に折り込まれ、中央通り側の5m四方の可動壁とあづま通り側の大型ガラス開き扉と同様に、通りを歩く人を内部へと誘うとともに、まちと連携することに役立っている。

「心地よさを過ごす……」新しい価値を絶えず提案する……」を全体コンセプトとして、各階ごとにテーマが立てられた。

いずれも文具店の枠を超えた提案がされていて、クライアントと設計者の綿密な打ち合わせがあったことが窺える。とくに11階の「野菜工場」は、水耕栽培の野菜が12階のカフェで提供される仕組みで話題を呼びそうだ。

買った文具を使って手紙を書いてポストに投函する、講演を聞く、カフェやドリンクバーでくつろぐなど、商品を購入するだけでなく「体験すること」も重視されている。「これがあの伊東屋?!」と思う人も出るかもしれない。銀座にガレリアをという優れた発想が功を奏し、まちに寄与する建築の立場を明快に示した点で、奨励賞に推薦することとなった。

(松川淳子)

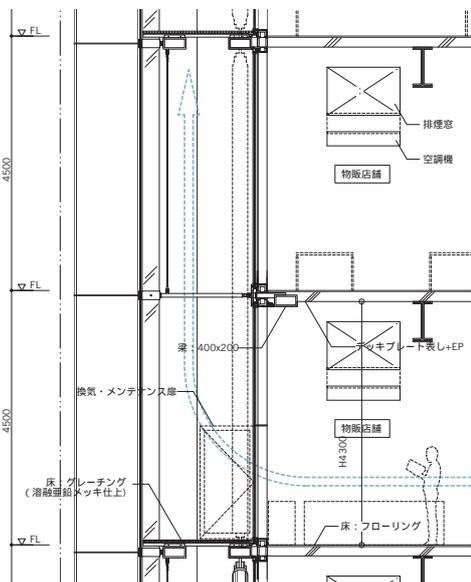


F



G

- A 中央通り側外観
- B あづま通り側は大型開き戸で街につながる
- C 1階店舗。街を散策するようにガレリア(各階の店舗)を散策できる
- D 11階の野菜工場。12階のカフェに食材を提供する
- E 基準階(7階)みちのようにおらかなガレリア
- F 基準階階段室
- G 基準階エレベーターホール
- H 開口部が最大となるようにデザインされた内部空間



ダブルスクリーン断面詳細図



H